

北朝鮮 **3度目** 核実験

暴挙をきびしく 糾弾します

日本共産党

日本共産党の市田忠義書記局長は2月12日、国会内で記者会見し、北朝鮮の核実験強行について、「国連安保理決議に違反する暴挙」として、きびしく糾弾すると表明しました。

北朝鮮による核実験強行は、核兵器

のない平和な世界をもとめる国際世論への重大な挑戦であり、絶対に許せません。市田氏は、「核兵器開発に固執する姿勢は、ますます国際的な孤立をまねくことになり、根本的にまちがっている」と批判しました。

国際社会の

一致した平和的外交的対応を

いま必要なのは、軍事的対応で緊張をたかめるのではなく、国際社会が一致して、平和的外交的手段で、北朝鮮に核兵器開発の放棄をせまることです。

日本共産党は、核実験前の2月9日、北朝鮮にたいし「これ以上の挑発行為をくりかえさないこと」を強く要求。さらに、核開発を放棄して国際社会の責

任ある一員になるため、6カ国協議をはじめとした国際的枠組みにたちかえることをもとめるなどの解決策を提案しています。

